

2 第1特集

幼児教育に求められる「遊びの質」とは何か



2 インタビュー
子どもを理解し、「遊びの質」を高める
2つの軸と5つの視点
聖心女子大学文学部教育学科教授 河邊貴子

6 ケーススタディー
園内研修での学び合いから
園全体で遊びの質を高める

12 ベネッセ教育総合研究所・CRN合同主催 ECEC研究会 開催報告
園の先生と研究者が立場を越えて、
「遊びの質を高める保育」について熱く議論

14 データから見る幼児教育

データで見る 園運営の今

20 第2特集

先生同士の「同僚性」を高める

20 はじめに ● 同僚性とは何か？
同僚性は保育者の専門性向上のカギ
広島大学大学院教育学研究科准教授 中坪史典

21 座談会
学び合う風土をつくるために園長は何をすればよいのか？
はつと保育園（兵庫県・私立保育園） 園長 片山喜章
かえで幼稚園（広島県・私立幼稚園） 園長 中丸元良
広島大学大学院教育学研究科准教授 中坪史典



25 Reader's Voice / 編集後記

「これからの幼児教育」ウェブサイトでは
全ての記事を無料でダウンロードできます

◎過去1年間の特集テーマ

2014年 春号 集団の中で「主体性」を育むために園ができること

2013年 秋号 園の保育観を入園前の保護者にもわかりやすく伝えるには？

2013年 夏号 子どもの育ちの「見える化」で保護者にもっと信頼される園になる

※本誌は最新号、バックナンバー等の追加発送は行っていません。



<http://berd.benesse.jp/magazine/en/latest/> または で

※ここで紹介した内容、デザインなどは変更になる場合があります。



はじめに

子どもたちは友だち関係が少しずつ安定し、園生活も落ち着いてきた頃だと思います。先生がたは、さらに遊びや友だち関係が充実していくように援助や環境づくりを日々考えられているところではないでしょうか。

保育制度や社会が大きく変わっている今、子どもたちによりよい育ちや学びを保証し続けることがこれまでに以上に求められます。そこで、今回の第1特集では園生活の中核を成す「遊び」に焦点を当てました。子どもの学びにつながる「遊びの質」についての専門家の解説とともに、保育者同士で語り合っていた材料として、ふたつの事例をご紹介します。

また、第2特集では、保育者の「同僚性」について考えます。遊びの質、保育の質を高めるためには、ともに子どもを支える仲間同士での「学び合う風土」が必要です。異動や採用などで新しい仲間を迎えた園も多くあると思います。新年度がスタートした今だからこそ、ご覧いただきたい記事です。

遊びが豊かになるほど、また保育者同士の同僚性が高まるほど、保育の質は向上します。子どもの育ちのために今号の記事をお役立ていただければ幸いです。

「これからの幼児教育」編集長 橋村美穂子